

まちづくり目標 3

健やかに暮らせるまちづくり

施策 2 0 高齢者福祉

施策 2 1 介護保険

施策 2 2 障害者福祉

施策 2 3 健康づくり

施策 2 4 地域福祉

施策 2 5 国民健康保険

まちづくり目標	皿健やかに暮らせるまちづくり	政策	⑩高齢者支援の充実
施策20	高齢者福祉		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
		R1年度	R2年度	R3年度
20-01 地域の団体、関係機関とのネットワーク強化 継続【福祉介護課】	民生委員、自治会など地域の団体、医療と介護の関係者による個別の事例検討会を開催し、連携を強化することで、高齢者の支援機能の充実を図る。 取組 高齢者を支えるためのネットワークづくり			
		事業費	R1年度 186 千円	R2年度 272 千円
20-02 「見守りねっと」による見守り体制の拡充 継続【福祉介護課】	地域の様々な事業者や各種団体と協定を締結し、気になる高齢者や子どもを発見(安否確認や生活の異変の察知等)した時に王寺町に連絡・相談していただくなど、迅速な支援につなげるためのネットワークを拡大して機能の充実を図る。 取組 見守りネットワークの整備			
		事業費	R1年度 327 千円	R2年度 127 千円
20-03 サロン活動への支援 継続【福祉介護課】	現在実施しているサロン活動に認知症予防や運動などの新しい活動メニューを考案、提示することで、サロン活動の支援を行う。 取組 居場所づくり			
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 112 千円
20-04 認知症相談窓口の拡充 継続【福祉介護課】	現在、専門相談員により月1回開設している認知症相談窓口について、相談回数を増やし、認知症予防に関する助言、受診支援、家族への心理的サポート等の充実を図る。 取組 認知症に関する相談・治療に結びつける連携体制の充実			
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
20-05 認知症サポーター養成講座の開催 継続【福祉介護課】	認知症を理解し、地域で認知症の人やその家族に対して可能な範囲で支援を行う認知症サポーターを増やすため、住民、各種団体、小・中学生を対象とした養成講座を開催。 取組 認知症サポーターの養成			
		事業費	R1年度 190 千円	R2年度 257 千円
20-06 ICTを活用した認知症高齢者の見守り事業 継続【福祉介護課】	認知症等による行方不明者の早期発見・保護につなげるため、携帯で読み取ると連絡先が表示されるQRコードが印刷されたシールを事前に配布する見守り事業を実施する。今後、ICTを活用した新たな見守り事業を検討し、重層的な見守り体制を整備していく。 取組 家族への支援			
		事業費	R1年度 327 千円	R2年度 127 千円
20-07 買い物困難者への対策検討 継続【福祉介護課】	「買い物困難者」に対する食料品や日用品の宅配又は移動販売や総合スーパー等への移動サービスによる買い物支援など、実効性のあるサービスについて検討を行う。 取組 買い物困難者への対策			
		事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円

施策20	高齢者福祉
-------------	-------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
20-08 第8期王寺町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画の策定 継続【福祉介護課】	「第8期王寺町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」の策定に伴うニーズ調査に、さらなる施設整備（平成30年度・令和2年度に各1施設開所）の必要性に関する調査項目を盛り込み、その調査結果をとりまとめて計画に反映する。 取組 「サービス付き高齢者向け住宅」等の整備	R1年度	R2年度	R3年度
		R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	R2年度
			→	
			1,619 千円	
			— 千円	

施策21	介護保険
-------------	------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
21-01 医療と介護の連携のための多職種連携体制の確立 継続【福祉介護課】	在宅医療の体制整備のために、地域の医療、介護、福祉、行政の関係者が中心となり、顔の見える関係をつくり、医療と介護の連携等の強化を図ることを目的に、イベントなどを実施。 取組 医療と介護の連携	R1年度	R2年度	R3年度
		R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	R2年度
			→	
			86 千円	
			147 千円	
21-02 入退院調整ルール of 体制構築 継続【福祉介護課】	介護が必要な方が安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりを目的に、平成29年度に西和地域7町における入退院連携マニュアルを作成。引き続き、その運用についてモニタリングを行いながら、医療と介護の連携強化を図る。 取組 地域包括ケアシステムの強化	R1年度	R2年度	R3年度
		R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	R2年度
			→	
			86 千円	
			147 千円	
21-03 介護予防事業等による効果的なリハビリテーションの提供 継続【福祉介護課】	体操教室のプログラムとして効果的なリハビリテーションを提供し、参加者の体力チェック等による評価と効果検証を行う。また、大学と連携して、理学療法士等による効果的なリハビリテーションをサロン活動の場でも提供する。 取組 切れ目のないリハビリテーション体制の推進	R1年度	R2年度	R3年度
		R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	R2年度
			→	
			2,143 千円	
			2,084 千円	
21-04 介護付有料老人ホーム施設整備 完了【福祉介護課】	介護付有料老人ホームの整備事業を奈良県へ上申し、令和元年10月に採択され、令和2年4月に開設。 取組 介護付有料老人ホーム等施設の誘致	R1年度	R2年度	R3年度
		R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	R2年度
			→	
			— 千円	
			— 千円	
21-05 住民主体サービスの検討 継続【福祉介護課】	第8期介護保険事業計画策定の中で、現在実施中の介護予防・日常生活支援総合事業に加え、介護ボランティア等による住民主体のサービス提供に向けた検討を行う。 取組 「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施	R1年度	R2年度	R3年度
		R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	R2年度
			→	
			— 千円	
			— 千円	

施策21	介護保険
-------------	------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
21-06 体操教室の充実 拡充 【 福祉介護課 】	特別養護老人ホーム「てんとう虫」内の地域交流スペースとやわらぎ会館の2か所で、専門職による介護予防のための体操教室を展開し、高齢者が健康づくりや介護予防に取り組む機会を創出。令和2年度から介護付有料老人ホーム「だるま苑」で開催する。 取組 「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	966 千円
		R2年度	1,247 千円	

まちづくり目標	皿健やかに暮らせるまちづくり	政策	⑪障害者支援の充実
施策22	障害者福祉		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
22-01 手話言語条例の制定 継続 【 福祉介護課 】	手話が言語であるとの認識に立ち、手話に対する理解の促進に努め、手話を日常的に使用することができる環境を整えることにより、障害のある人もない人も互いに尊重しあいながら、心豊かに共生することのできる地域社会を実現することを目的として、令和2年度において手話言語条例を制定する。 取組 コミュニケーション支援の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	— 千円
		R2年度	— 千円	
22-0 障害者が地域で活躍できる環境や仕組みづくり 新規 【 福祉介護課 】	障害のある人がサービスの受け手となるだけでなく、高齢者福祉施設での清掃作業などサービスを提供する働き手として地域で活躍できる環境や仕組みづくりを検討する。 取組 活躍できる環境・仕組みづくり	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	— 千円
		R2年度	— 千円	
22-03 (仮称)愛犬サミット 新規 【 政策推進課 】	補助犬は障害のある人の日常生活や社会参加をサポートすることから、その育成や周知活動に寄与することを目的に、ふるさと納税を活用した支援方法を検討する。また、補助犬制度の普及啓発を目的とした「(仮称)愛犬サミット」を開催する。 取組 コミュニケーション支援の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	— 千円
		R2年度	— 千円	
22-04 成年後見制度の周知、利用促進 継続 【 福祉介護課 】	障害のある人の権利を擁護する取組として、成年後見制度をホームページの内容の充実等により広く周知するとともに、手続きの援助を行うなど、利用を促進する。 取組 権利擁護の促進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	1,097 千円
		R2年度	927 千円	

施策22

障害者福祉

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
22-05 特別支援教育の推進 継続【学校教育課】	障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するため、個別の教育支援計画を活用し、幼稚園から小中学校まで切れ目のない支援を推進する。障害の種別ごとに少人数の特別支援学級を設置するほか、通常の学級で授業を受けながら、障害の状態に応じた特別な指導を実施する通級学級を行う。 取組 早期療育と障害児福祉サービスの推進	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
22-06 地域生活支援拠点の整備 継続【福祉介護課】	障害のある人の重度化や高齢化を見据え、相談機能の強化や、緊急時の受入れ対応の機能を備えた地域生活支援拠点を西和7町圏域で整備する。 取組 障害福祉サービス等の充実	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
22-07 施設や病院から地域生活への移行支援 継続【福祉介護課】	障害により福祉施設や病院に長期間入所や入院している人が地域で暮らせるよう、西和7町障害者等支援協議会において地域移行を推進する部会の設置等を行う。 取組 地域生活への移行支援	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度	51 千円
			R2年度	51 千円
22-08 障害啓発強化期間の作品展等取組の充実 継続【福祉介護課】	障害者週間における作品展等、障害のある人が発表し、また、芸術にふれる機会を設けるとともに、障害に対する理解を促進させる。 取組 障害のある人のスポーツ・文化芸術活動への支援	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
22-09 障害者スポーツ活動の取組 継続【福祉介護課 生涯学習課】	奈良県などが主催する障害者に対するスポーツ活動やスポーツイベントについて、団体、広報紙等を通じて情報提供を行い参加を促進する。障害者週間において障害者スポーツに関する展示を行うなど、障害者のスポーツ活動への理解を促進させる。 取組 障害のある人のスポーツ・文化芸術活動への支援	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

まちづくり目標	Ⅲ 健やかに暮らせるまちづくり	政策	⑫健康づくりの推進
施策23	健康づくり		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
23-01 てくてく健康チェックデー 継続【保健センター】	毎週土曜日に保健センターで、保健師・管理栄養士等による健康相談を実施。希望者は活動量計の購入が可能。(自己負担:町在住者1,000円、在勤者2,000円) 取組 歩く健康づくりの推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 173 千円	R2年度 484 千円
23-02 ウォーキング実践教室 継続【保健センター】	ウォーキング習慣を身につけると共に筋肉トレーニング等を行うことで健康寿命の延伸を目指す。 取組 歩く健康づくりの推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 96 千円	R2年度 122 千円
23-03 シルバーウォーク 継続【保健センター】	高齢者の健康づくり・歩くきっかけづくりとなる外出の機会を提供することを目的に、毎年1回実施。コースは、2つの健脚コースと、健脚コースへの参加が困難な方が参加できるワゴン車コースの計3種類があり、参加者は自分の体力にあわせてコースの選択が可能。 取組 歩く健康づくりの推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 1,145 千円	R2年度 1,144 千円
23-04 奈良県健康ステーション 継続【保健センター】	奈良県からの受託運営事業である健康ステーションでは、最新の健康機器で気軽に健康チェックを受けられるほか、日々の歩数や中強度の歩行時間がわかる「活動量計」を体験できる機会を提供している。サポーターによる目標達成に向けた継続的な支援も受けることができる。 取組 歩く健康づくりの推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 3,912 千円	R2年度 3,685 千円
23-05 がん検診実施体制の整備 継続【保健センター】	がんの治療は早期発見が最も重要であることから、町内医療機関と連携した受診勧奨をはじめ、個別通知による受診勧奨や無料クーポン券の配布に取り組む。また、国や県の動向に注目し、最新の情報を収集してがん検診の実施体制を整備する。 取組 がん検診受診率の向上	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 18,972 千円	R2年度 20,950 千円
23-06 特定健康診査実施体制の整備(がん検診同時実施) 継続【保健センター】	特定健康診査対象者への個別通知、未受診者への電話勧奨を継続して行うことで、受診率の更なる向上を図る。また、受診結果に基づく適切な保健指導を行うことにより、生活習慣病の抑制を目指す。 取組 特定健康診査受診率の更なる向上	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 28,290 千円	R2年度 32,622 千円
23-07 いきいき健康サロン 継続【保健センター】	健康づくり並びに地域づくりのきっかけづくりとして自治会等に出向き、その団体の希望に合わせた健康づくり講座を開催。そこで健康測定機器を使用した健康チェックや、減塩や野菜摂取といった食習慣の改善についての啓発に取り組む。 取組 出前健康チェックの実施	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度 53 千円	R2年度 31 千円

施策23

健康づくり

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
		R1年度	R2年度	R3年度
23-08 健康ポイント事業 継続【保健センター】	健康の保持・増進、生活習慣病予防や高齢者の介護予防を目的として、がん検診の受診や歩くことによりポイントが得られ、集めたポイントに応じて商品券と交換できる事業を実施。 取組 「健康づくりポイント制度」の創設			
		事業費	R1年度 734 千円 R2年度 340 千円	
23-09 喫煙防止対策 継続【保健センター】	禁煙に取り組むボランティア団体と協働し、小・中学校で「喫煙防止教室」を開催するなど、年間を通してたばこの害に関する啓発活動を実施。 取組 喫煙を防ぐための取組			
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
23-10 ヘルスアップサポーター (健康づくり推進員)の養成 新規【保健センター】	健康寿命の延伸を目指し、身近な場所で「健康」について考え実践する機会を創出するため、令和2年度より「ウォーキング」や「運動」に特化したヘルスアップサポーター(健康づくり推進員)を養成する。 取組 健康づくりボランティアや住民活動の推進			
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 162 千円	
23-11 やわらぎ体操普及推進員の養成 継続【保健センター】	町歌に合わせたオリジナル健康体操「やわらぎ体操」の啓発・普及に取り組み、健康保持・増進、生活習慣病予防、高齢者の介護予防を目指す。また、より身近な場所で体験できるよう、やわらぎ体操普及推進員を養成する。 取組 やわらぎ体操の啓発・普及			
		事業費	R1年度 7 千円 R2年度 0 千円	
23-12 自殺対策計画の推進 継続【保健センター】	平成31年3月に「王寺町自殺対策計画」を策定。その基本理念「お互いを思いやり 命を大切にすま 王寺町」の実現を目指して、一般住民や職員を対象にしたゲートキーパー養成講座の開催や、自殺予防のパンフレットの配布等の普及啓発に取り組んでいく。			
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 325 千円	
23-13 「第4次王寺町健康増進計画及び食育推進計画」の策定・推進 継続【保健センター】	令和元年度にマイアセスメント調査を実施、令和2年度に「第4次王寺町健康増進計画及び食育推進計画」を策定し、計画に基づいた取組を推進する。			
		事業費	R1年度 1,134 千円 R2年度 2,760 千円	

まちづくり目標	皿健やかに暮らせるまちづくり	政策	⑬地域で支え合うまちづくり
施策24	地域福祉		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
24-01 介護ボランティア支援事業 継続【社会福祉協議会】	地域で支え合い、助け合えるまちづくりを目指して、介護(生活支援)ボランティア養成講座を実施する。地域における支え合いに必要なボランティアとしての心得や知識を学んでいただき、実践へとつなげていくことを目的とする。 取組 ボランティア活動の推進	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 250 千円 R2年度 0 千円	
24-02 サロン活動の充実 継続【社会福祉協議会】	少子高齢化や核家族化、ひとり暮らし世帯の増加を背景とした地域のつながりの希薄化を防止するため、自治会館など身近な場所でのふれあいサロン活動を通じた「顔の見える関係づくり」「地域のつながりづくり」を進める。各サロン代表者に出演ボランティアを紹介するなど催し物の内容を充実させる。 取組 居場所づくりの推進	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 610 千円 R2年度 590 千円	

施策25	国民健康保険
------	--------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
25-01 特定健康診査未受診者受診勧奨 継続【国保健康推進課】	特定健診の未受診者に対し、過去の検査結果を記載した通知書を送付し、特定健診への受診勧奨を行う。通知書の内容は、検査値をレーダーチャートで分かりやすく表現したものとする。また、電話による受診勧奨も行う。 取組 「第2期王寺町国民健康保険データヘルス計画」に基づく保健事業	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 1,587 千円 R2年度 2,130 千円	
25-02 健診異常値放置者受診勧奨 継続【国保健康推進課】	特定健診で異常値が出ているにもかかわらず、医療機関を受診していない被保険者に対して、医療機関への受診勧奨を行うことで、生活習慣病の早期予防につなげ、重症化を防ぐ。 取組 「第2期王寺町国民健康保険データヘルス計画」に基づく保健事業	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 1,299 千円 R2年度 1,207 千円	
25-03 糖尿病性腎症重症化予防 継続【国保健康推進課】	特定健診の結果とレセプトの状況から対象者を特定し、看護師による対象者個人の6か月間の面談指導と電話指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるようにする。 取組 「第2期王寺町国民健康保険データヘルス計画」に基づく保健事業	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 3,348 千円 R2年度 3,098 千円	
25-04 ジェネリック医薬品への切替促進 継続【国保健康推進課】	医療費の適正化のため、保険証の送付時に「ジェネリック医薬品希望シール」を同封したり、国保事務支援センターを通じて「ジェネリック差額通知」の送付を実施する。 取組 ジェネリック医薬品への切替促進	R1年度	R2年度	R3年度
		→		
		事業費	R1年度 376 千円 R2年度 148 千円	